

「都立日比谷公園再生整備計画（中間のまとめ）」に対する都民意見及び対応方針

募集期間：令和2年12月8日～令和3年1月7日（31日間）

意見総数：87通　うち1通は181名の署名付き（Eメール：83通、郵送：4通）、175件

資料2-3

No.	ご意見	対応方針
	<p>【計画全般について】：13件</p>	
1	<ul style="list-style-type: none"> 新たな芝生地（HIROBAS（仮称））の造成や周辺街区とのアクセス改善などの思い切った取組に大賛成。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、進めてまいります。
2	<ul style="list-style-type: none"> 再生整備計画の考え方に大きく賛同。特に「時」「人」「空間」をつなぐ新たな公園の将来像は、周辺のまちと公園がオープンな空間の創出と、ワークブルなネットワークにより、相乗的な魅力や賑わいの創出、Well-beingなどの新たな価値観をも具現化していくことに強く共感する。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
3	<ul style="list-style-type: none"> 公園と周辺の街区が公民連携したまちづくりを行うことで、公園を含むエリアの価値向上につながり、ひいては首都東京の魅力向上、国際競争力強化につながると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
4	<ul style="list-style-type: none"> 環境計画や公園とまちをデッキで繋ぐことによる回遊性の拡がりイベントの賑わいとまちの一体化させていくという取組については、日比谷エリアの更なる魅力の向上につながるものと確信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
5	<ul style="list-style-type: none"> 日比谷公園の歴史物語るS字型園路や心字池、第一花壇などの空間を残す計画は高く評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
6	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス街に立地する公園としての位置づけた方が良い。レジャーランドのような絵に見える。 	<ul style="list-style-type: none"> 性格の異なるまちの中心にあって、ビジネス利用も含め、多様な人々が来園すると考えております。（2頁参照）こうした特性等を踏まえ、まちと共に新たな魅力や賑わいを創出し、子供から大人まで多様な利用者が楽しめることを使われ方の一つに設定しております。（6頁参照）29頁から33頁のパーズ（絵）につきましては、説明を追記させていただきました。
7	<ul style="list-style-type: none"> 働ける場所として位置付け、ワーケーション、エクササイズ、打合せ場所、おもてなし空間として特化し、歴史文化を尊重したカフェスペースや貸し会議室など高級感があり借りやすい施設を整備するのが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 性格の異なるまちの中心にあって、ビジネス利用も含め、多様な人々が来園すると考えております。（2頁参照）こうした特性等を踏まえ、まちと共に新たな魅力や賑わいを創出し、子供から大人まで多様な利用者が楽しめる公園を目指してまいります。（6頁参照）施設の整備についてはご意見として承り、今後の整備や管理運営の参考とさせていただきます。

No.	ご 意 見	対 応 方 針
8	<ul style="list-style-type: none"> わが国の近代的洋風公園の第一号であり、近代化土木遺産の公園部門として登録されるべきものと思われる。歴史の検証を並行して進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、6頁の再生整備の3つの取組に、「…文化・歴史を検証し、次世代に継承…」と下線のとおり追記しました。
9	<ul style="list-style-type: none"> 新宿御苑や明治神宮を含めた東京都心部の公園群の一つとして位置付けて計画すると説得力が増すと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日比谷公園は都心の緑の骨格を形成する都市計画中央公園の一部です。また、日比谷公園や皇居を中心とした豊かな自然は、都心の緑の核として重要な役割を果たしております。(4頁参照) なお、これらの趣旨を明確にするため、7頁の将来イメージに、「…再整備においては、<u>都心の緑の骨格を形成し日本を代表する…</u>」と下線のとおり追記しました。
10	<ul style="list-style-type: none"> 先進国の大都市と引けを取らないインフラであって欲しい。緑の多さ、文化への貢献が備わった立派な計画である。一方で、グリーンベルトのようなコンセプトの不足、音楽堂の周辺施設との重複感、テニスコートではなく球技広場としたことについて再検討が望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 都心の緑の骨格を形成し、また、開園以来、中央公園としてその時々ニーズに対応してきた特性に着目し、文化的・歴史的価値や魅力を高めつつ、変化するニーズに柔軟に対応する公園を目指しております。(6頁参照) 大音楽堂や小音楽堂、日比谷公会堂についてはこれまで利用されてきた歴史や文化を継承することで、周辺の類似施設との違いを際立たせてまいります。 またHIROBAs(仮称)は、自由自在な活動を促す多種多様な広場が集まる空間で、その広場の一つとして球技広場を計画しております。(22、23頁参照) ご意見も参考に取り組みでまいります。
11	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的な整備計画の方針で、賑わいの創出は必要だが、特別な公園として現在の環境を維持、拡大することこそ第一であり、整備は慎重、最低限、漸進的を基本としてもらいたい。 都心で駅からも近く、面積も広く、昔から都民に親しまれてきたと思う。イベントが行われたり、テニスなど良い環境でスポーツが出来、緑豊かで愛すべき公園。年月を経て成熟した公園で、今の形を変えずに維持していくべきである。(2件) 	<ul style="list-style-type: none"> この公園の魅力にさらに磨きをかけ、長い時間を連綿と紡いできた公園の文化・歴史や存在を継承する一方、ポテンシャルを発揮できるよう、公園の設えや使い方を変えることも必要と考えております。(6頁参照) ご意見も参考に取り組みでまいります。
12	<p>【景観計画について】：1件</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内の見通し確保や公園が周囲から見られる必要は無い。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在は、樹木や施設が視線を遮って園内外の視認性が低いため、公園から皇居外苑へとつながる空間の大きさを生かせず、まちとの一体感も生まれにくい状況にあります。このため、園内の空間のつながりや、まちを見る視点、まちから見られる視点を意識しつつ、多様な視点場を創出していくことが重要と考えております。(9頁参照)

No.	ご 意 見	対 応 方 針
13	<p>【植栽計画について】：4件</p> <ul style="list-style-type: none"> 都会のオアシスは、鬱蒼たるみどりであっても何ら不都合はないと思う。グリーンインフラとしての機能を担う樹木の剪定や伐採については、慎重に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の樹木については、樹勢や樹形などの健全度を把握して計画内容の実現に向けた植栽計画を策定し、整備や維持管理を行います。その際、樹木の現状や計画内容に応じ、移植や剪定、不健全木などの更新や落葉樹の植栽など適切に対応してまいります。ご意見として承り、今後の整備や管理運営の参考とさせていただきます。(10頁参照)
14	<ul style="list-style-type: none"> 日比谷公園が最新の日本の園芸文化発信の拠点となるよう位置付けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一花壇を誰もが四季の魅力を感じ日本の園芸文化を再認識する場に再生するなど、和の文化として日本の園芸文化を発信するとともに、日本の植栽、園芸文化への認識強化や再生に取り組んでまいります。(20頁参照)
15	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の風雪に耐えた老木の保護をお願いしたい。明るくして防犯のためにも見通しを良くすることは理解できるが、伐採は急がず、慎重な検討と都民に意見を聞くような進め方を希望する。 ヒートアイランドを緩和し日陰をもたらす樹木の緑陰を重視すべきである。人通りの多いところは落葉樹を増やして冬の日当たりを確保し、剪定により見通しの確保と両立できると考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、10頁の植栽計画に、「<u>・既往調査などを基に歴史性や貴重性の高い樹木を把握する</u>」、「<u>…樹木診断などにより、適切に樹木の…</u>」と下線のとおり追記しました。 また、14頁の具体的な取組につきましても「<u>下枝の剪定や中低木の整理などにより、緑陰を確保しながら視認性を高め、安心、安全、快適な…</u>」と下線のとおり追記しました。
16	<p>【環境計画について】：3件</p> <ul style="list-style-type: none"> グリーンインフラとして雨水貯留浸透だけでなく、落ち葉や剪定枝葉のリサイクル、太陽光発電などハードと共にイベントなどソフト面の取組も必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> グリーンインフラとは、ハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市・地域づくり等を進める取組と考えております。このため、11頁の環境計画の記載を、「<u>…グリーンインフラとして整備、管理運営を行い、…</u>」と下線のとおり修正しました。ご意見も参考に進めてまいります。
17	<ul style="list-style-type: none"> 遊水地（雨庭）の雨水流出抑制効果は疑問である。 	<ul style="list-style-type: none"> 雨水浸透機能を、雨庭（レインガーデン）として可視化することで、水の循環などを判りやすく発信し、環境教育の場としても活用してまいります。(11頁、22頁参照)
18	<ul style="list-style-type: none"> 日比谷公園の水の流れについては、当初の設計意図を探る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見として承り、今後の整備の参考とさせていただきます。

No.	ご 意 見	対 応 方 針
	【施設計画について】	
	(1) 入り口と外周：11件	
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入口と外周における外周植栽の整理は、視認性向上、園内外からのアクセシビリティの向上、緑のネットワーク形成にも資するものである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見を踏まえ、進めてまいります。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園とまちを道路上空でつなぐことにより、新たな視点場の創出や地域の回遊性が向上する。また、公園の活動と周辺街区のエリアマネジメント団体の活動が連携し、地域全体の新たな賑わいや交流、視点場の創出に大きな効果があると考える。(2件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上
21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在何処にバリアがあるのか、段差が問題であれば横にスロープを付ければよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日比谷公園は利便性が高い立地条件にありますが、広幅員道路や地下道からの階段等のバリアが存在し、まちと公園のアクセシビリティが良くないことが課題です。(4頁参照) このため、公園とまちを道路上空でつないで、公園の広場空間をまちへと広げる計画としました。これにより周辺の地域と公園の回遊性を高め、新たな視点場や賑わいと交流の場を創出してまいります。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道橋のようなものは高齢化社会に向かない、エレベーターなども景観や維持管理が課題。祝田通り、晴海通り、日比谷通りを地下化して渡りやすくした方がよい。 ・ 入口としては現在の門で十分で、デッキは日比谷公園及び周辺景観に配慮していない計画であるため反対。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (No. 23の回答に同じ) また、ご意見を踏まえ、13頁のデッキの説明に、「・・・向上させるとともに、<u>景観に配慮しつつ公園の・・・</u>」と下線のとおり追記しました。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皇居だけでなく、緑が増えた丸の内や有楽町エリアからの一体感や回遊性をあげるため、公園の東側の視認性や入りやすさを高め、ウォーカビリティを上げるべき。皇居側はバリアを取り除いて皇居の緑を借景として魅力的な花壇を設け滞留を生むべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都心に存する貴重な公園を周辺のまちやみどりへとつなぐこととしております。また、視認性を高めアクセシビリティを向上させ歩道との一体感を創出してまいります。(14頁参照) ご意見も参考に取り組みまいります。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・ デッキの設置により横断歩道の廃止などが生じないよう、また、デッキの桁下に無用な空間が生じないようにお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ デッキ下部空間には来園者の休憩等に資する機能を配置してまいります。ご意見については、今後の整備の参考とさせていただきます。(13頁参照)

No.	ご 意 見	対 応 方 針
25	<ul style="list-style-type: none"> 大震災時の防災やヒートアイランド現象の緩和など、グリーンインフラとしての機能を担う外周の植栽帯を整理する計画は見直すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園全体をグリーンインフラとして捉えて取り組んでいくこととしております。ご意見を踏まえ、14頁の具体的な取組につきまして「<u>下枝の剪定や中低木の整理などにより、緑陰を確保しながら視認性を高め、安心、安全、快適な…</u>」と下線のとおり追記しました。 なお、日比谷公園の立地する地区は不燃化が進んでおり、万が一火災が発生しても、地区内に大規模な延焼火災の恐れがない「地区内残留地区」に指定されております。
26	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者デッキは東側2か所若しくは1か所として、南側にも設置すれば利便性がより向上する。 	<ul style="list-style-type: none"> デッキの設置については、現時点では周辺のまちづくりの状況も踏まえ、公園の東側に2か所と考えております。(2頁参照) 南側のデッキについては、ご意見として、今後の計画の参考とさせていただきます。
27	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄の案内看板の設置と歩きやすい場所づくりをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見も参考に、引き続き、案内板の設置などわかりやすい案内誘導を図ってまいります。
(3) 公会堂から小音楽堂：5件		
28	<ul style="list-style-type: none"> 芝庭広場は元々広大な運動場だったところであり、広場として近い形に戻していくのは良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、進めてまいります。
29	<ul style="list-style-type: none"> 日比谷公園の再生には年々寂しくなっている第二花壇を再生ししっかりと手をかけることが重要。花壇のプロデューサー中心の体制が望まれる。第二花壇周囲の舗装を拡幅しても殺風景だし、木陰がなくなって夏のイベントが難しくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の第二花壇につきましては、来園者が芝生地に入ることができる芝庭広場とし、両側園路はビスタ景観を阻害しないイベント誘導のため拡幅いたします。(16～18頁参照) 花壇につきましては、第一花壇において誰もが四季の魅力を感じられるよう、民間と連携して植栽展示のデザインをコーディネートするなど、花の充実と魅力向上を図ってまいります。(20頁参照)
30	<ul style="list-style-type: none"> 鶴の噴水の台座部分の吹き上げを早急に復旧してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 鶴の噴水は、開園当初からある歴史的価値の高い施設であり、次世代に継承する計画としており、電気・給排水などの老朽化した設備の改修と併せて修復していく予定です。
31	<ul style="list-style-type: none"> 芝庭の夜間照明について、防犯、維持管理経費、発災時のヘリポート利用なども含めてしっかりと検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見も参考に、夜間の安全・安心のため、園内の必要箇所において適切な照度を確保してまいります。
32	<ul style="list-style-type: none"> 小音楽堂の木陰による日差しの緩和が広場との一体化によって失われないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見として承り、今後の整備及び管理運営の参考とさせていただきます。

No.	ご 意 見	対 応 方 針
33	<p>(5) 第一花壇周辺：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一花壇はヨーロッパの洋風幾何学庭園形式を残す貴重な場所であり、保存してほしい。 ・ 第一花壇のデザインは今のままで十分で、民間の協力を得る必要は無いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一花壇は洋花を発信してきた文化・歴史的価値の高い施設です。このため、設置当初から引き継がれてきた花壇の形状は保存し、誰もが四季の魅力を感じられるよう、民間と連携して花の配植等の展示のデザインをコーディネートするなど、花の充実と魅力向上を図ってまいります。(22頁参照)

No.	ご 意 見	対 応 方 針
	<p>(7) HIROBAS : 91件</p> <p>34 ・ ハード主体からソフト主体へと変えるHIROBAS (仮称) の仕組みづくりの重要性に共感する。</p> <p>35 ・ コロナの影響により多様化したライフスタイルに対応した、パークオフィス機能の導入の検討に賛同。</p> <p>36 ・ 管理棟などをリニューアルし、利用者への利便性を高くする事は大いに賛成。皇居周りを走る大勢のランナーのためのステーションもより完備されるのも良い。</p> <p>37 ・ 子供の広場をはじめとした芝生広場に子供をわざわざ連れてくることはない、オフィスワーカーを対象とした公園設計が合理的。</p> <p>・ 日比谷公園付近で子供の姿は見かけない、キッズスペースなど造らず大人の公園を目指した方が良い。</p> <p>38 ・ 「皇居外苑へのつながりを感じ、プログラムの提供などにより多面的な利用を生み出す空間」のコンセプトが曖昧な印象をうける。</p> <p>・ HIROBASは不要である</p> <p>・ 芝生広場は江戸城本丸跡地にあり、日比谷公園には不要</p> <p>・ HIROBASの構想は理解できるが、あまりにも多様な要素を積み込みすぎており、運動施設は必要ないのではないか</p> <p>・ 芝庭広場と重複しており、ヨガやマルシェ、音楽も芝庭広場でやればよい</p> <p>・ 大芝生広場や大屋根広場がゴルフ練習場になってしまうことが危惧される</p> <p>・ 一貫性のある整備は望ましいが、三笠山を崩すなど地形を変えてしまうことの無いようにしてほしい</p> <p>・ HIROBASのローマ字表記する意図が不明</p> <p>・ りっぱな管理棟は無駄になると思う</p>	<p>・ ご意見を踏まえ、進めてまいります。</p> <p>・ 同上</p> <p>・ 同上</p> <p>・ 性格の異なるまちの中心にあって、ビジネス利用も含め、多様な人々が来園すると考えております。また、都心に立地し性格の異なるまちに囲まれている公園であることから、まちと共に新たな魅力や賑わいを創出し、子供から大人まで多様な利用者が楽しめる公園を目指してまいります。(6頁参照)</p> <p>・ 皇居外苑との結節点となる公園の北西部は、これまで時代のニーズに応え、健康・運動などの機能を受け入れてきました。しかし、区域が細かく分断され来園者を引き付ける魅力に欠けることや、隣接する皇居外苑へのつながりが体感できないなどの課題があるため、地形や植栽等を活かしながら園内から皇居外苑への見通しが利く大きな広場空間を計画しました。この広場空間は、三笠山の地形を継承した芝丘広場や、健康運動などの機能を高め、様々なプログラムが行われる大芝生広場、雨水循環や生物多様性など環境教育にも資する雨庭広場など、多様な広場で構成されています。この新たなエリアをHIROBAS(仮称)としており、性格の異なる広場が集まることで、子供から大人まで自由自在な活動が促される場となり、相互に影響しあって新たな利用や連携が生み出されることなどを目指しています。また、このエリアは、地域の団体等と連携した新たなマネジメントの仕組みを取り入れることで、都民のニーズに柔軟に対応した利用を可能とし、多くの都民が集い、wellness(心と身体の健康)を感じることでできる広場としていきます。さらに、HIROBAS(仮称)には、地域や緑の情報を発信する場、キッズスペース、展示スペース、更衣室など、都民の方々の公園利用の拠点となるパークプラザ(仮称)を整備し、園内サービスの向上を図ってまいります。(22頁、23頁参照)</p>

No.	ご 意 見	対 応 方 針
39	<ul style="list-style-type: none"> 暑い日差しから守るように育っている大木の数々を処分して、『大芝生広場』を作るのは、逆に憩うための公園の意味を成さないのではないか。グランピングの必要性も疑問、出来ないと思う。子供が遊べる広いスペースを幼児広場に押し込めてしまうのか。 	<ul style="list-style-type: none"> (No. 39の回答に同じ) なお、既存の樹木については、樹勢や樹形などの健全度を把握し、計画内容の実現に向けた植栽計画を策定し、整備や維持管理を行います。その際、樹木の現状や計画内容に応じ、移植や剪定、不健全木などの更新や落葉樹の植栽など適切に対応してまいります。
40	<ul style="list-style-type: none"> wellness需要は多くないと思われ、芝生広場は皇居前にいくらでもあるので不要である。 	<ul style="list-style-type: none"> (No. 39の回答に同じ) なお、皇居外苑については、令和3年1月に「皇居外苑の利用のあり方懇談会報告書」において、国民のニーズに広く応える利用の在り方を常に取り入れていくとともに、皇居に隣接する公園として静謐を維持していくことも求められるとしております。
41	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響による運動不足や、閉塞感、ストレスなどへの対策としてスポーツやリフレッシュができる機能が必要。テニスコートや健康広場などの運動施設は最低限維持。只の広場ではなく、スポーツと働けるオープンスペースを組み合わせるなど先駆けた取組を期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> (No. 39の回答に同じ) ご意見も参考に新たな公園マネジメントの導入に取り組んでまいります。
42	<ul style="list-style-type: none"> HIROBAsは、様々な活動が可能な空間となることが期待される。空間のコンセプトを踏まえた、しっかりとしたマネジメントルールを策定し、飲食イベントなどは避けるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> HIROBAs（仮称）においては新たな公園マネジメントの仕組みを導入し、多様なプログラムを提供してまいります。（23頁参照） ご意見として承り、今後の管理運営の参考とさせていただきます。
43	<ul style="list-style-type: none"> 菊花展や朝顔展、山野草展など季節の風物詩となる催しが安全快適に継続できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の園芸文化などの和の文化の発信を計画しております。これまで草地広場や陳列場で開催されてきた季節の風物詩となっている催しにつきましては、パークプラザ（仮称）や広場で対応することを想定しております。（22頁参照） ご意見を踏まえ、今後の整備や管理運営の参考とさせていただきます。
44	<ul style="list-style-type: none"> HIROBAs（仮称）の質の高い管理運営のため、季節や天候などによる稼働率に課題がある屋外施設だけでなく、飲食やエンターテイメント要素のある屋内施設を併設するなど安定的な収入源を計画すべきではないか。（3件） 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
45	<ul style="list-style-type: none"> 皇居ランナーの増加により歩道が危険な状態。日比谷公園内にランナーが走れるような設えを行って、一定数の皇居ランナーを園内に誘導してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> HIROBAs（仮称）には、地域や緑の情報を発信する場、キッズスペース、展示スペース、更衣室など、都民の方々の公園利用の拠点となるパークプラザ（仮称）を整備し、園内サービスの向上を図ってまいります。 ご意見につきましては、今後の整備や管理運営の参考とさせていただきます。

No.	ご 意 見	対 応 方 針
46	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皇居ランナーの増加を助長する。更衣室であればテニスコートと共用可能 ・ ランニングステーションの使用者想定が分からない。皇居ランナーは使わないし、官庁街にランナーはいるのか疑問。 ・ ランニングステーションは民間が多数運営しており、民業圧迫につながるので不要（2件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ランニングステーションについては、HIROBAs（仮称）での活動等をサポートする機能の例示として示したところですが、単一機能との誤解を生むため、22頁のイメージ図の記載を削除しました。 HIROBAs（仮称）には、地域や緑の情報を発信する場、キッズスペース、展示スペース、更衣室など、都民の方々の公園利用の拠点となるパークプラザ（仮称）を整備し、園内サービスの向上を図ってまいります。（22頁参照） ご意見につきましては、今後の整備や管理運営の参考とさせていただきます。
47	<ul style="list-style-type: none"> ・ テニスコートの存続に関すること（62件）（1件には181名の署名付） （存続を求める主な理由） <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心で交通の便がよく、恵まれた環境の中でテニスができる ・ 利用者が多くニーズも高い ・ 長い歴史がある ・ コミュニティや憩いの場である ・ テニスの聖地である ・ 仕事帰りや休日にテニスを楽しむことができる ・ 老若男女が楽しめる生涯スポーツで都民の健康増進に資する ・ テニス競技にとって将来を担う若手の育成の観点から有意義である ・ 日比谷公園のテニスコートでの思い出がある ・ 千代田区の大会などが行われている ・ 様々な年代のプレーヤーと一緒に楽しむことができる （その他） ・ フェンスに囲われながらも公園や周辺施設との親和性を生み出せるテニスコートを残してほしい ・ 面数を減らしてでも残してほしい ・ 現状のテニスコートを変えずに維持してほしい ・ 計画で示されている球技とは何を指すのか明確にすべき ・ コートの倍増を希望する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皇居外苑との結節点となる公園の北西部は、これまで時代のニーズに応え健康・運動などの機能を受け入れてきました。しかし、区域が細かく分断されており、来園者を引き付ける魅力に欠けることや、隣接する皇居外苑への繋がりが体感できないなどの課題があるため、地形や植栽等を活かしながら園内から皇居外苑への見通しが効く大きな広場空間を計画しました。 この広場空間は、三笠山の地形を継承した芝丘広場や、健康や運動などの機能を高め、様々なプログラムが行われる大芝生広場、雨水循環や生物多様性など環境教育にも資する雨庭広場など、多様な広場で構成されています。このエリアをHIROBAs（仮称）としており、性格の異なる広場が集まることで、子供から大人まで自由自在な活動が促される場となり、相互に影響して新たな利用や連携が生み出されることなどを目指しています。また、このエリアは地域の団体等と連携した新たなマネジメントの仕組みを取り入れることで、都民のニーズに柔軟に対応した利用を可能とし、多くの人が集い、wellness（心と身体の健康）を感じることでできる広場としていきます。 こうしたエリアの基本的な考え方に基づき、HIROBAs（仮称）を構成する広場の一つである球技広場についても、テニス等の様々な球技が楽しめる広場とし柔軟な運営を行うことで、都民の多様なニーズに応えていく計画としています。（22頁、23頁参照） なお、HIROBAs（仮称）の具体的な整備やマネジメント手法などについては、ご意見も参考に、これから進める基本設計において引き続き検討してまいります。 また、ご意見を踏まえ、22頁の球技広場の説明を「テニス等の各種球技が楽しめる広場」と修正させていただきました。
48	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「周辺施設との調和に欠ける」という理由だけでスポーツ施設をなくすのはいささか議論が足りていないと感じた。スポーツ環境を園内に残しながら調和を感じるデザインで子供から大人まで利用者の納得する施設を検討してほしい。無論、テニス以外のスポーツ施設でも良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同上

No.	ご 意 見	対 応 方 針
49	<ul style="list-style-type: none"> テニスやフットサル、バスケットの3×3など実用性のあるスポーツ施設が必要。オリンピック種目を生み出すようなイノベーションを発信する公園であってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
50	<p>(8) 大音楽堂：4件</p> <ul style="list-style-type: none"> 騒音対策には民営化をすることではなく、着席から立席を主流とすることで面積を縮小する方が効果的。また、存続には政治集会の役割が必要なので、料金設定の工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 大音楽堂は、野外音楽堂としての歴史を継承しつつ、老朽化が進んだ施設を改築する予定です。ご意見も参考に近隣への音の配慮をしつつ、民間の資金やノウハウを活用して、大音楽堂の整備・管理運営の手法を検討してまいります。(24頁参照)
51	<ul style="list-style-type: none"> 大音楽堂の再整備の方針に賛同。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、進めてまいります。
52	<ul style="list-style-type: none"> 野外音楽堂の座席の規模や雰囲気はアメリカシカゴの「ジェイ・プリッカー・パビリオン」に似ていて、それを参考にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
53	<ul style="list-style-type: none"> 大音楽堂の収益性は課題。公園全体で収益向上を図って個別施設の改修を補うような民間提案の事業手法の検討が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
54	<p>その他：4件</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症対策としてベンチの間隔をフィジカルディスタンスを保ち、長時間の滞在はやめてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大など社会状況を踏まえ、適切に整備・管理運営を行ってまいります。
55	<ul style="list-style-type: none"> 日比谷公会堂は公共施設として重要な施設であり、早期に修復の上、再開してほしい。昭和初期の貴重な建築遺産としても公開されることが望ましい。 <p>日比谷公会堂の2階舞台への搬入経路や客席4階までのバリアフリー化は必須で、レトロカフェより優先すべきである。外観も歴史的建造物に相応しく維持すべき。専門家の意見を聞いて改修すべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的建造物である日比谷公会堂を早期に改修し、バリアフリーの実現や利便性の向上などを図ることで、一層都民に親しまれる施設としてまいります。
56	<ul style="list-style-type: none"> 良好な公園の管理・運営のため、車両の駐車スペースが必要で、大屋根広場の地下部を活用するなどすべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理車両等の駐車スペースについてはご意見として承り、今後の管理運営の参考とさせていただきます。

No.	ご 意 見	対 応 方 針
	【運営計画について】	
	(1) 多様な主体との連携：10件	
57	<ul style="list-style-type: none"> 公園周辺の街区や都民など、多様な主体が参加して新しい魅力や賑わいを創出していける管理運営の仕組みづくりを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 都民、NPO、企業などの多様な主体と連携し、公園を一層柔軟に使いこなして、公園と周辺のまちのマネジメントが連携、連動して、公園を含めた地域全体の魅力を一層高める運営管理を推進してまいります。(25頁参照)
58	<ul style="list-style-type: none"> 周辺街区と連携した、音楽や芸術品展示会等の文化イベントの実施を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえ、25頁の運営計画に「<u>民間などと連携して、…音楽や芸術など様々な文化・学習活動体験…</u>」と下線のとおり追記しました。
59	<ul style="list-style-type: none"> 日比谷公園とまちの連携を鑑みたエリアマネジメント、災害時の電源確保や来園者の安全性を確保するための防災訓練などの防災機能の強化等について可能な限りの協力を行っていくとともに、日比谷公園及びその周辺エリアの持続的な発展のために、より一層の地域貢献を果たしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災は公園の持つ重要な機能の一つと認識しており、所管部署や地元区、地域と連携して取り組んでまいります。また、ご意見を踏まえ、25頁の運営計画に「<u>周辺の多様な主体と連携して、地域の安全性を高めていく</u>」と下線のとおり追記しました。
60	<ul style="list-style-type: none"> 花の管理やボランティア作業のためのバックヤードスペースを十分に確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア等の多様な主体と連携し、公園を効果的に維持、運営してまいります。ご意見として承り、今後の整備の参考とさせていただきます。
61	<ul style="list-style-type: none"> 都民と花と緑をつなぐコーディネーターとして運営協力したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
62	<ul style="list-style-type: none"> 人と植物が共存する空間づくりをプロデュースする会社として、計画にあるコンテンツに提案ができると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
63	<ul style="list-style-type: none"> 防災公園として整備し、帰宅困難者に開放して、ルールを検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
64	<ul style="list-style-type: none"> 公園の再構成の要件として防災が含まれるべき、日常と有事の両面にわたるランドデザインをしっかりと検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
65	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応として、帰宅困難者受け入れの観点からも、非常時にエネルギーが供給される仕組み検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上
66	<ul style="list-style-type: none"> 周辺街区と連携した災害時における、公園マネジメントについても言及ほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 同上

No.	ご 意 見	対 応 方 針
67	<p>(2) 民間活力の導入：3件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食施設など既に民間の力を借りてきているが、日比谷公園らしさを失わない民間活用であるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見を踏まえ、26頁の運営計画・民間活力の導入の記載を「民間活力の導入を図り、<u>日比谷公園の価値や魅力に磨きをかける</u>」と下線のとおり追記しました。
68	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間活力の導入にあたっては、Park-PFIなどの民間資金や提案を活用できる仕組みの検討が必要がある。 ・ その後の状況の変化に応じてより良い計画見直しを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画では、地域団体や民間企業等との連携を進めて、積極的に民間活力の導入を図ってまいります。(26頁参照) ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
69	<p>(3) DXの推進：2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的にICTの導入を検討してほしい。 <p>ICTの活用にあたっては、必要な基盤整備を進め、人流分析やVR・AR等の活用による施設整備・管理運営、公園内の安全管理などへの活用を検討すべきである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本計画では、様々なニーズに対応するため、ICTなどを活用し、利用者の状況把握や防犯や事故防止、積極的な情報発信などによる新たな公園マネジメントを展開し、より質の高い運営管理を目指してまいります。 ご意見でいただいたような先進技術の導入については、今後の整備や管理運営の参考にさせていただきます。(27頁参照)
70	<p>(4) 利用のルールづくり：5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者視点でのルールづくりに賛同、民間企業やNPO等の意向を踏まえた柔軟な対応が可能な公園憲章やルール作りを検討してほしい。 ・ 日比谷公園に相応しいイベントが開催されるようにコントロールする仕組みやルールづくりが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者や地域団体等の関係者との協議会を活用してルールづくり等に取り組んでまいります。(28頁参照)
71	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小音楽堂の広場との一体化によって大型イベントが行われ騒音が問題化するのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等の開催にあたっては、騒音等による公園利用者や近隣施設等への配慮を行ってまいります。ご意見を踏まえ、28頁の運営計画・利用のルールづくりに「<u>…テント設置の誘導や騒音等周辺環境への影響に配慮するなど、質の高い…</u>」と下線のとおり追記しました。
72	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物多様性の環境を維持するため、公園内で生物を捕るのを禁止すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでも公園内における生物の捕獲等は禁止をしており、今後も同様に対応してまいります。
73	<ul style="list-style-type: none"> ・ タバコ等の注意喚起をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園内における喫煙は、ルールを定め、マナー向上に取り組んでおります。今後も分かりやすい案内を行う等、マナー向上の取組を継続していきます。

No.	ご 意 見	対 応 方 針
74	<p>【その他】：6件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緑と水の市民カレッジを管理棟と一体化し、拡充して、知の拠点とすることを位置付けるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緑と水の市民カレッジについては、公園の管理機能と一体とすることが望ましいと考え、パークプラザ（仮称）内への配置も検討してまいります。また、緑の図書館や日比谷図書文化館などの知の集積を活用して、まちづくりや公園の役割、歴史、これまで発信してきた「3つの洋」に加え、「和の文化」を発信するとともに、緑と水の人材育成などを図ってまいります。（25頁参照）
75	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生整備計画の中で地域冷暖房の活用や拠点整備について検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
76	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「石垣の実生の撤去」の意味がよくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見を踏まえ、21頁の施設計画・心字池と日比谷見附周辺の空間の具体的な取組の記載を「<u>石垣に生えた植物の除却等</u>・・・」と修正しました。
77	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様化する交通手段に対応するために、エリア内に立地する駐車場との提携促進やネットワーク化など自動車利用でも来訪しやすい公園とすべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の整備や改修、管理運営の際、設置者との連携を図ってまいります。
78	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民運動で修復できた「自由の鐘」は撤去しないようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由の鐘につきましては、広場整備の際に影響がある場合には、移設することを検討しております。
79	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主園路の段差解消等のバリアフリーの取組に併せて、園内や周辺街区で利用可能なスマートモビリティの導入や周辺街区との連携について検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご意見として承り、今後の参考とさせていただきます。
80	<p>【事業について】：11件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスが拡大する中、計画を中止または延期すべき。（11件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの拡大により、公園は健康運動利用やテレワーカーの作業場所など利用形態が多様化し、都市の冗長性を確保する観点からもその役割が拡大しています。このためには、より一層柔軟かつ多様はオープンスペースの活用への対応やこれを支える人材育成のノウハウの展開が必要です。（3頁参照） ・ 日比谷公園は明治36年、わが国の近代的洋風公園の先駆けとして開園して以来、各時代の「今」を映し、数々のエピソードを生んできた公園です。本計画は開園から100年余の時代を経て積層した魅力にさらに磨きをかけるために必要な計画と考えています。